

クニミネ工業株式会社

2023年3月期
第2四半期 決算説明会

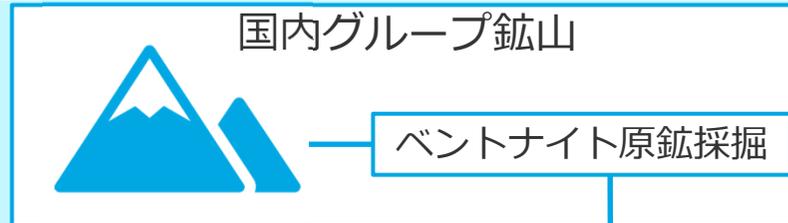
2022年12月9日
スタンダード市場
証券コード：5388

当社ビジネスモデル・事業目的

当社ビジネスモデル

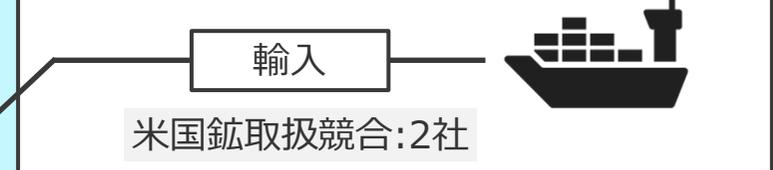
ベントナイトの採掘、加工、販売のニッチトップ企業

ベントナイト
採掘

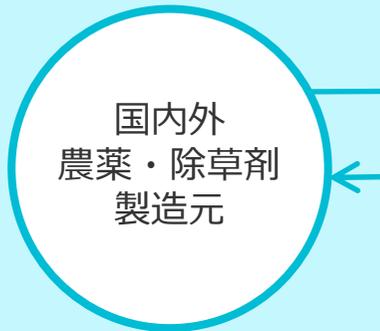


国内競合: 全国展開1社、地域3~4社

海外ベントナイト原鉱



アグリ
事業
40P



原体支給

受託加工

クニミネ工業
グループ
製造・加工

国内シェア
: 約60%

ベントナイト事業

鋳物
分野
37P



販売
技術支援



土木
分野
38P



国内シェア
: 約47%

販売

化成品
事業
41P



ライフ
サイエンス
事業
42P



ペット
分野
39P



『資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する』

当社グループは、貴重な地下資源である「ベントナイト」の採掘・製造・販売を中心事業に、アグリ事業、化成品事業、ライフサイエンス事業の4事業を展開しております。未来のニーズを創造することで、お客様に新しい価値を提供し続けています。

■ ベントナイト事業

- モンモリロナイトを主成分とする粘土鉱物を加工し、膨潤性・増粘性などの特性を活用して、様々な事業分野に展開

■ 鋳物分野

『耐熱特性に応じた製品、体系化した技術を通じて、素形材産業にソリューションを提供する』

- 鋳物用成型砂の粘結材

■ 土木分野

『土と水にイノベーションを起こし、地球環境問題に貢献する』

- 掘削地盤の壁面保護や地盤との隙間充填材

■ ペット分野

『ペットとの暮らしに快適さを与え、社会に癒しと笑顔を創造する』

- 猫用トイレ砂

■ アグリ事業

『農薬粒剤の生産活動を通じて、食の安定供給に貢献する』

- 農薬粒剤の受託加工、農薬向け原材料

■ 化成品事業

『粘土の未知なる魅力を発見し、粘土の力で世界を変える』

- 高機能品(精製ベントナイト、合成スメクタイト等)

■ ライフサイエンス事業

『生命を事業領域と捉えて、粘土の可能性を追求する』

- 畜産向け飼料添加物、赤潮対策剤

1 業績トピックス

2 2023年3月期 第2四半期決算概要

3 2023年3月期 通期見通し

4 中期経営計画概要(2022年3月期-2024年3月期)



グループ全体 ⇒ 減収減益

ベントナイト事業を中心とした原料高の影響と
化成品事業の需要一服により、減収減益



鋳物分野(ベントナイト事業) ⇒ 増収減益

自動車生産台数回復により復調するも、原料高で減益



土木分野(ベントナイト事業) ⇒ 減収減益

復興案件終息に伴う需要減により、販売量減少

1 業績トピックス

2 2023年3月期 第2四半期決算概要

3 2023年3月期 通期見通し

4 中期経営計画概要(2022年3月期-2024年3月期)

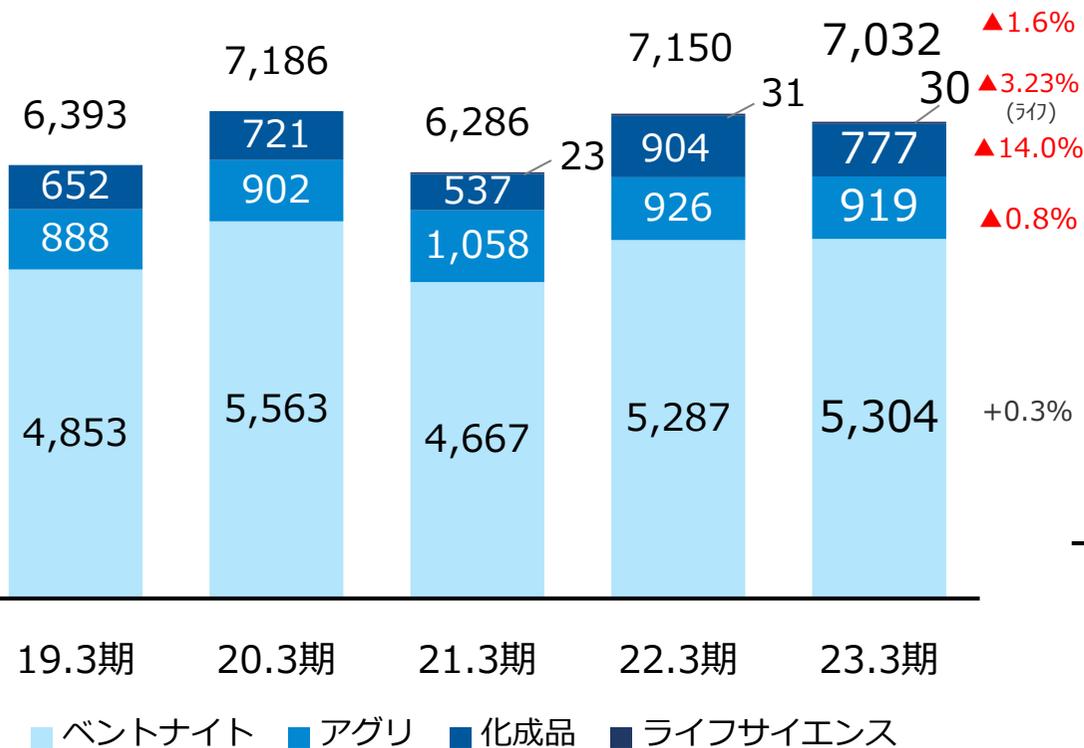
2023年3月期 第2四半期決算概要

- 前年同水準の売上高となるが、原材料高騰の影響により減益
- 輸入原料決済に保有外貨を活用し、為替差益等で円安影響を一部補う

(百万円)	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期(実績)	前年同期比	2023年3月期 上期 (当初計画)	計画比
売上高	7,150	7,032	▲1.6%	8,000	▲13.7%
営業利益	724	146	▲79.7%	500	▲70.8%
経常利益	795	482	▲39.3%	600	▲19.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	528	252	▲52.2%	400	▲37.0%

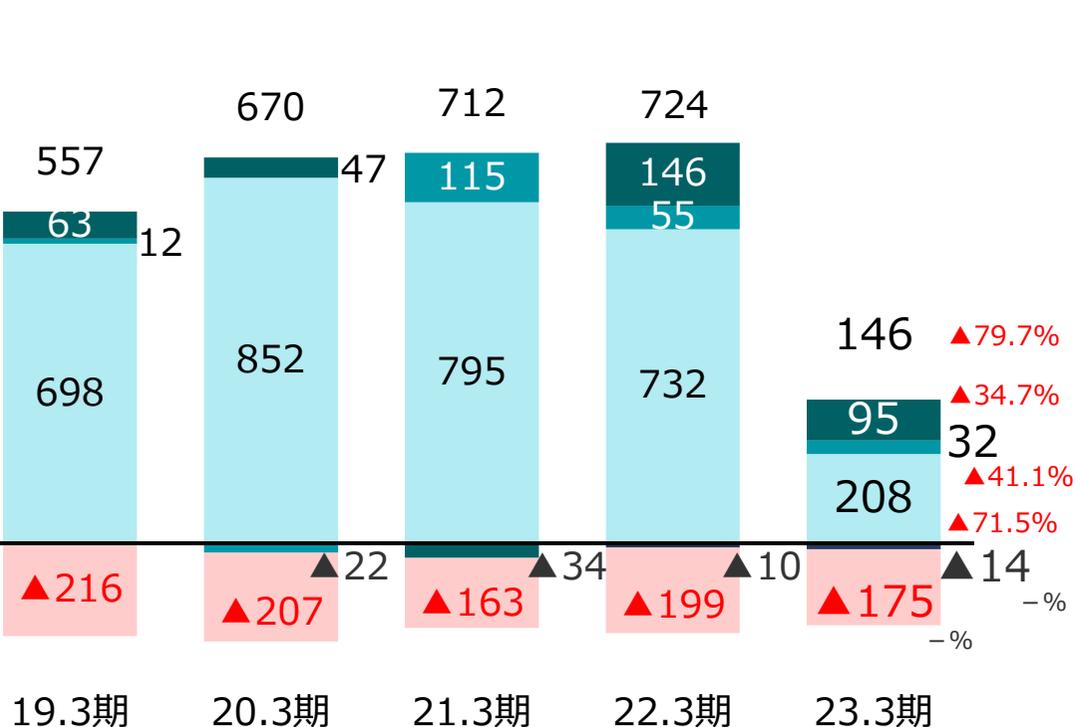
セグメント別業績（上期）

(百万円) セグメント別 売上高 %:前年比



※有価証券報告書上では、ライフサイエンスはベントナイトに含む

(百万円) セグメント別 営業利益 %:前年比



■ ベントナイト ■ アグリ ■ 化成品 ■ ライフサイエンス ■ 全社費用など

※21.3期上期のライフサイエンス営業利益は0

- ベントナイト… 鋳物事業が回復するものの、輸入原鉱価格高騰により増収減益
- アグリ… 前年並の販売量となるが、原価増により減収減益
- 化成品… 前年のコロナ反動需要が一服、原価増もあり減収減益
- ライフサイエンス… 赤潮対策剤の出荷遅れにより、減収減益

2023年3月期 第2四半期貸借対照表の概要

2022年3月期末
総資産 24,848百万円

▲671
百万円

2023年3月期 第2四半期末
総資産 24,177百万円

(百万円)

流動資産	2,036	流動負債
	1,833	固定負債
16,781		
内外貨建資産 ^{※3} : 1,881	純資産 ^{※1} 20,978	
固定資産 8,067	自己資本比率 82.5%	

※1：非支配株主持分は473百万円

流動資産：
現金同等物 9,501
流動負債：
1年内返済長期借入金 100
固定負債：
長期借入金 825

(百万円)

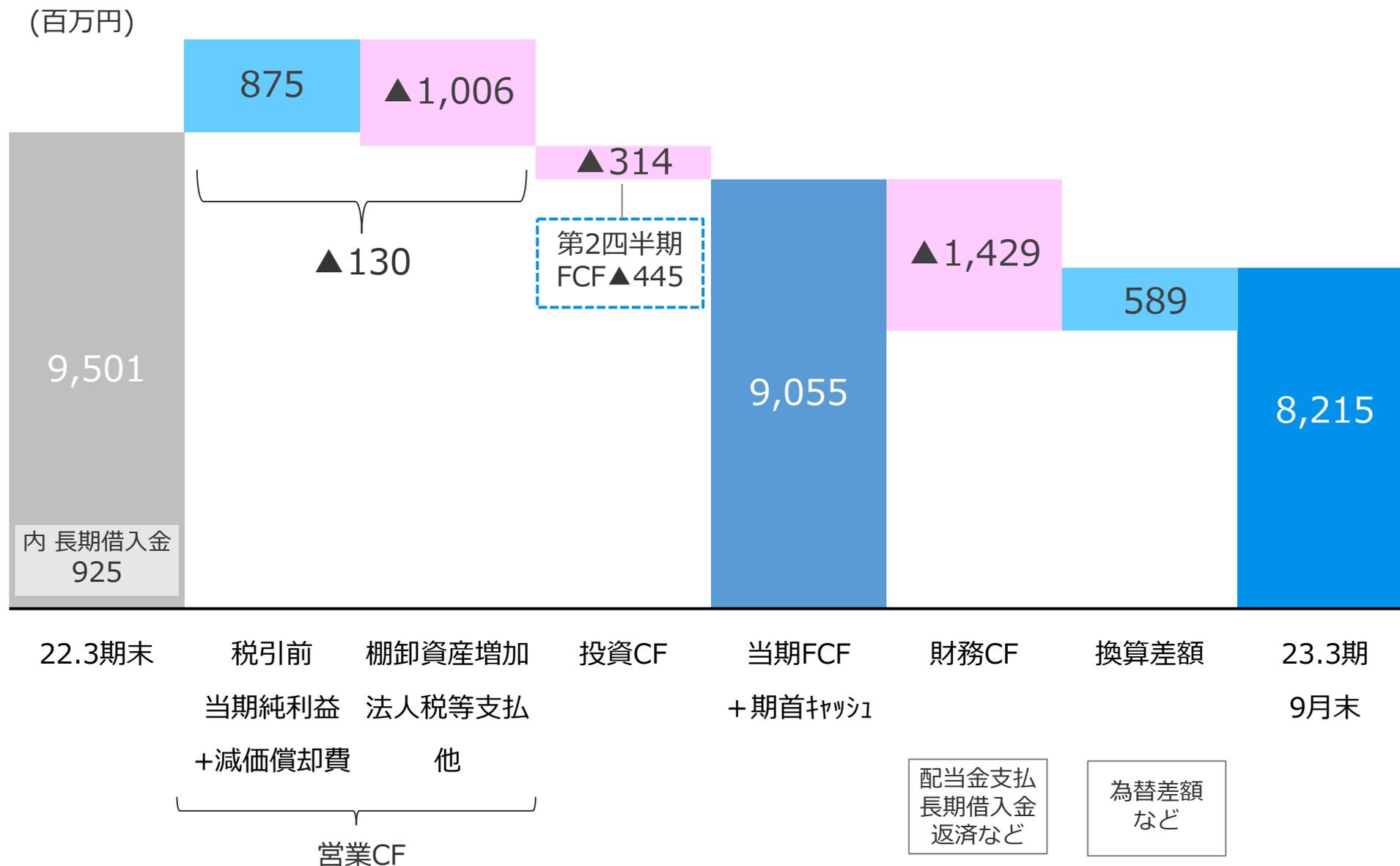
流動資産	1,902 ▲134	流動負債
	1,069 ▲764	固定負債
15,964		
▲817	純資産 ^{※2} 21,205 + 227	
内外貨建資産 ^{※3} : 1,517	自己資本比率 85.3%	
固定資産 8,212		
▲145		

※2：非支配株主持分は586百万円

※3：MMF等の換金性の高いものを記載

流動資産：
現金同等物 8,215
注：長期借入金(925百万円)は返済

2023年3月期 第2四半期キャッシュフロー要約



1 業績トピックス

2 2023年3月期 第2四半期決算概要

3 2023年3月期 通期見通し

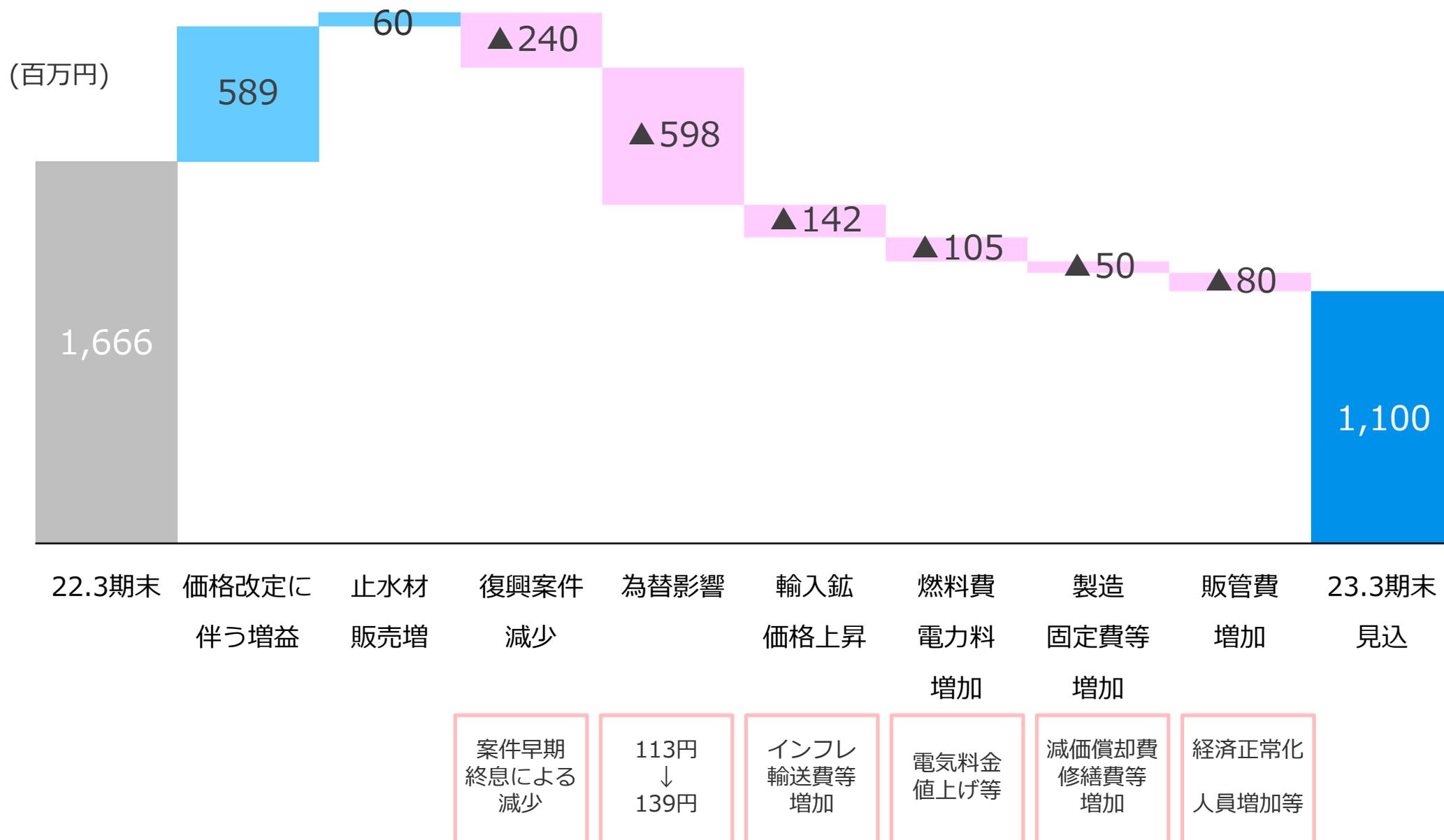
4 中期経営計画概要(2022年3月期-2024年3月期)

2023年3月期 通期予想

- 売上高は前年同等を見込むも、各種原料高及びエネルギーコストの上昇で減益見込
- 輸入原鉱決済に保有外貨建資産を活用し、営業利益の減少分を一部補う

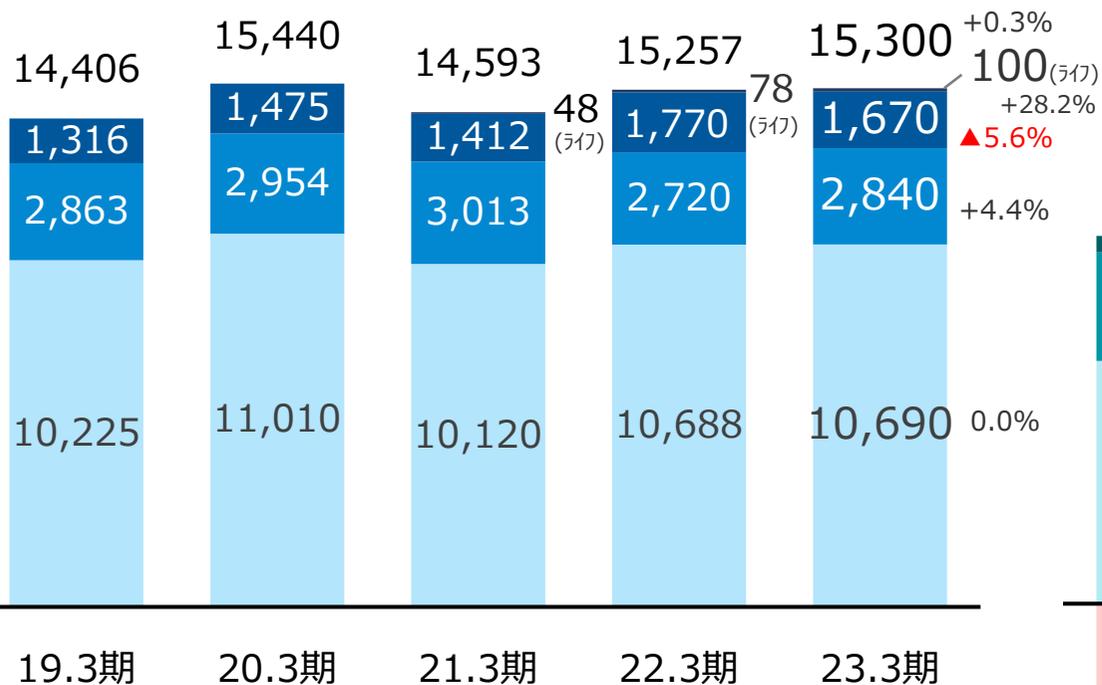
(百万円)	2022年 3月期	2023年 3月期予想 (9/16修正)	前年同期比	2023年 3月期 (当初計画)	当初計画比
売上高	15,257	15,300	+0.3%	17,400	▲12.0%
営業利益	1,666	1,100	▲34.0%	1,800	▲38.8%
経常利益	1,913	1,500	▲21.6%	2,000	▲25.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,301	1,050	▲19.3%	1,400	▲25.0%

22.3期→23.3期 営業利益増減要因(予想)



セグメント別業績予想 (通期)

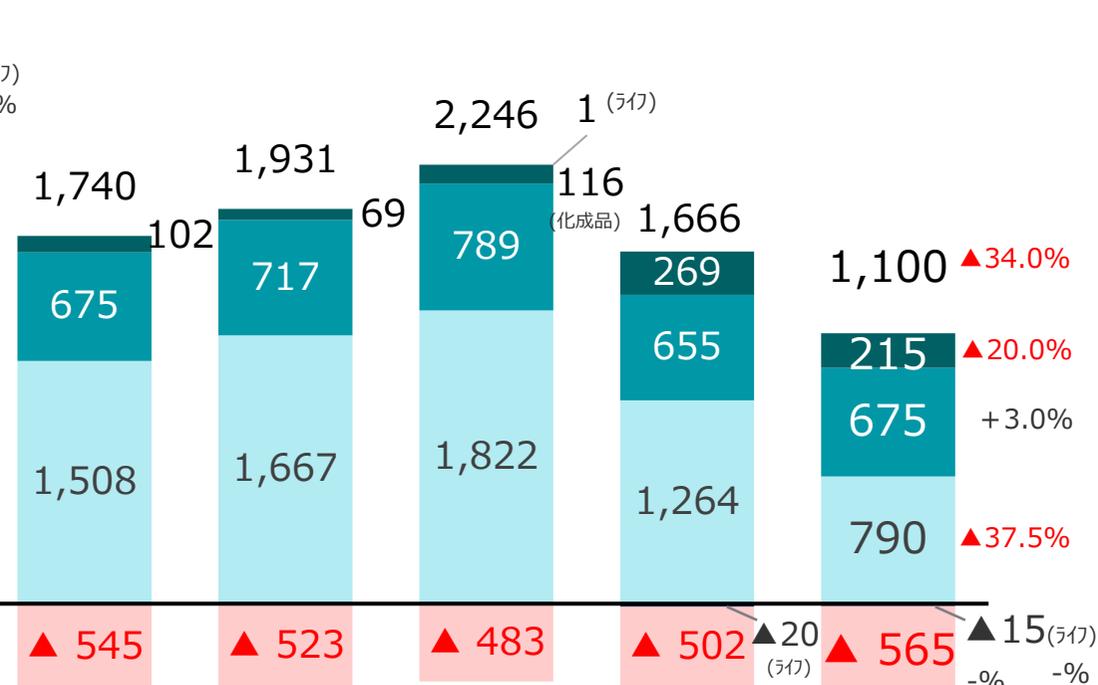
(百万円) セグメント別 売上高 %:前年比 (百万円)



■ ベントナイト ■ アグリ ■ 化成品 ■ ライフサイエンス

※有価証券報告書上では、ライフサイエンスはベントナイトに含む

セグメント別 営業利益 %:前年比



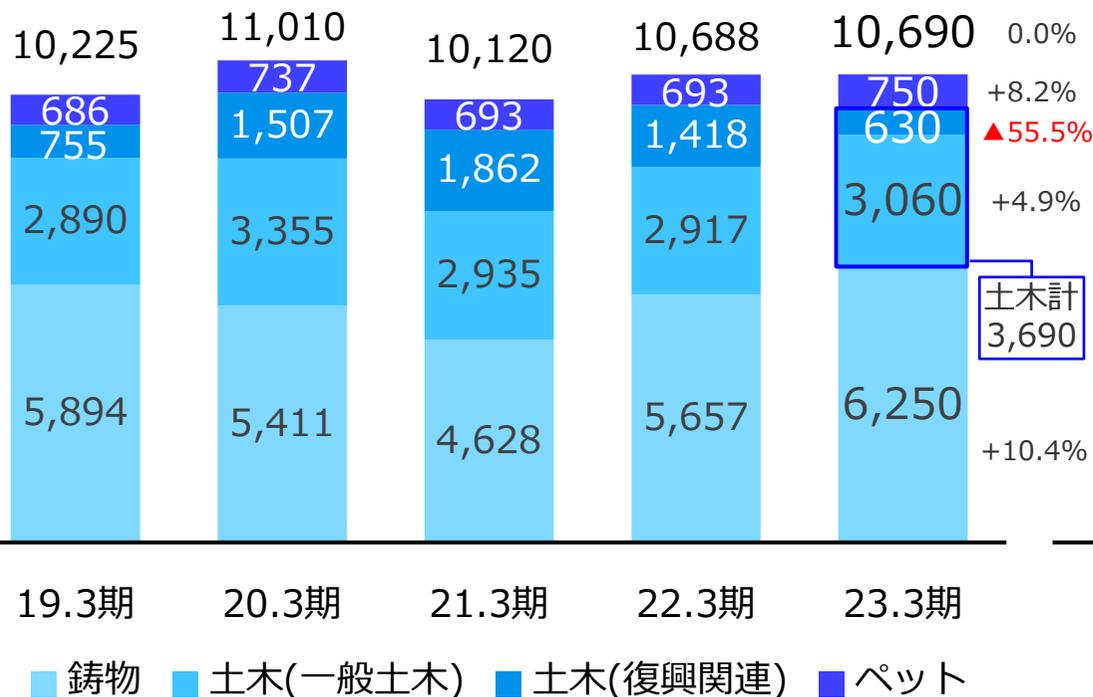
■ ベントナイト ■ アグリ ■ 化成品 ■ ライフサイエンス ■ 全社費用など

- ベントナイト… 鋳物事業が回復するものの、輸入原鉱価格高騰により増収減益
- アグリ… 新規獲得案件での増加分により、増収増益
- 化成品… 前年のコロナ反動需要が一服、原価増もあり減収減益
- ライフサイエンス… 赤潮対策剤の販売増により、増収増益

ベントナイト事業 業績予想 内訳 (通期)

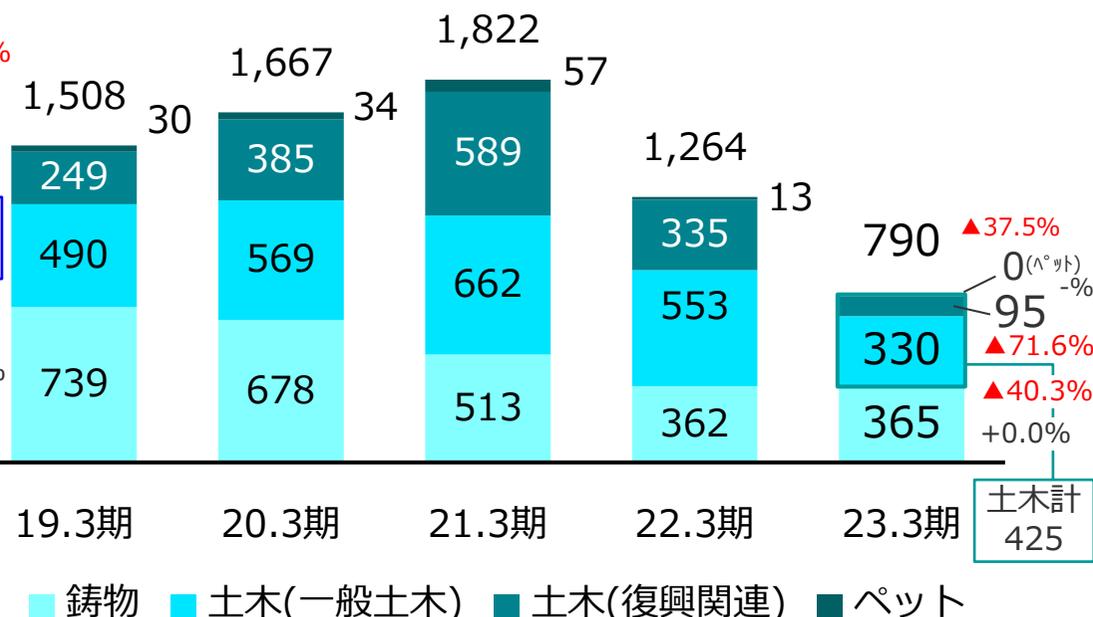
ベントナイト事業 売上高

(百万円)
%:前年比



ベントナイト事業 営業利益

(百万円)
%:前年比



- 鋳物…下期からの価格改定効果を見込み、増収増益
- 一般土木…止水材販売増加するものの、原価増により増収減益
- 復興関連…案件終息に伴う需要減により、減収減益
- ペット…需要増加するも原価増により、増収減益

セグメント別 上期下期別業績予想

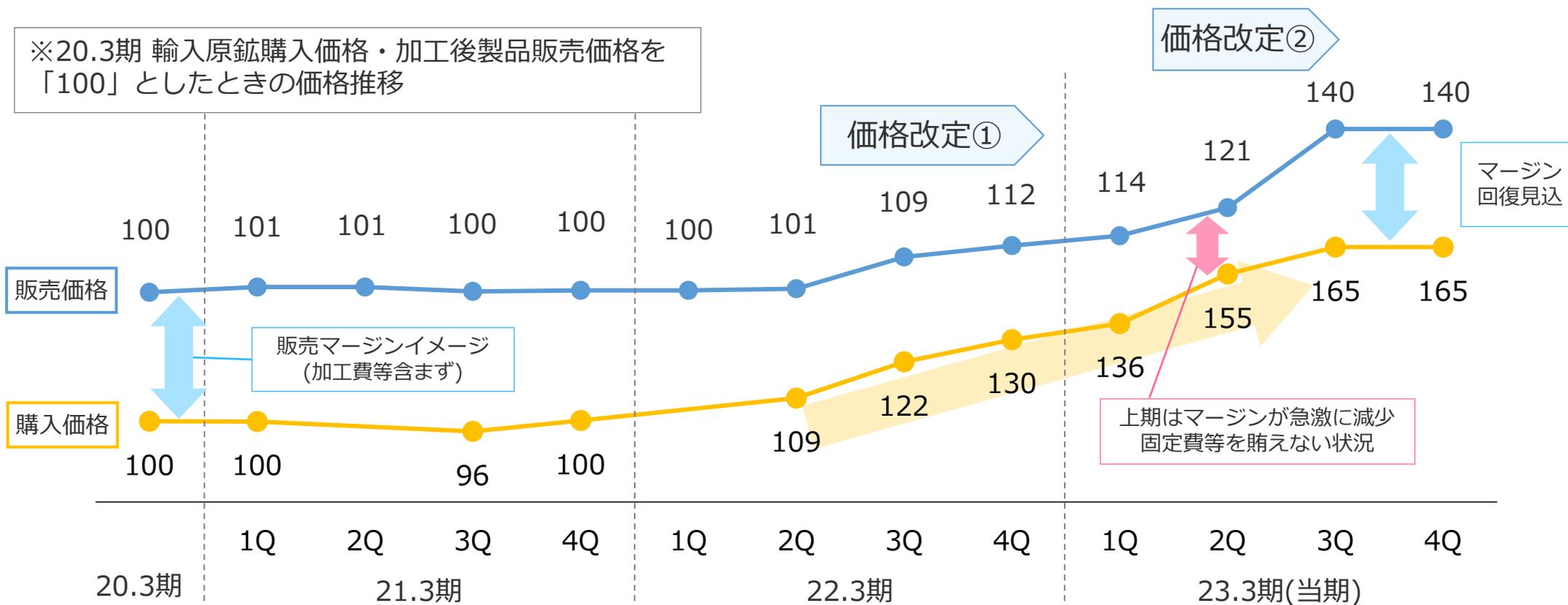
(百万円)		22.3期			最新見込み			前年差		
		上期	下期	年度計	上期実績	下期見込	年度計	上期	下期	年度計
鋳物	売上	2,764	2,893	5,657	3,005	3,245	6,250	240	353	593
	営業利益	288	74	362	▲37	402	365	▲325	328	3
土木(一般)	売上	1,437	1,480	2,917	1,578	1,482	3,060	141	2	143
	営業利益	262	291	553	182	148	330	▲80	▲143	▲223
土木(復興)	売上	744	674	1,418	301	329	630	▲443	▲345	▲788
	営業利益	181	154	335	58	37	95	▲123	▲117	▲240
ペット	売上	340	353	693	419	331	750	79	▲22	57
	営業利益	0	13	13	5	▲5	0	5	▲18	▲13
ベントナイト計	売上	5,287	5,401	10,688	5,304	5,386	10,690	17	▲15	2
	営業利益	732	532	1,264	208	582	790	▲524	50	▲474
アグリ	売上	926	1,794	2,720	919	1,921	2,840	▲7	127	120
	営業利益	55	600	655	32	643	675	▲23	43	20
化成品	売上	904	866	1,770	777	893	1,670	▲127	27	▲100
	営業利益	146	123	269	95	120	215	▲51	▲3	▲54
ライフサイエンス	売上	31	47	78	30	70	100	▲1	23	22
	営業利益	▲10	▲10	▲20	▲14	▲1	▲15	▲4	9	5
全社費用	—	▲199	▲303	▲502	▲175	▲390	▲565	24	▲87	▲63
グループ計	売上	7,150	8,107	15,257	7,032	8,268	15,300	▲118	161	43
	営業利益	724	942	1,666	146	954	1,100	▲578	12	▲566

22.3下期-23.3下期見込比較 ベントナイト事業

分野	22.3下期-23.3下期見込(百万円)	下期見通し	今後の対応
鋳物	<p>■売上 ■営業利益</p> <p>22.3期: 売上 2,893, 営業利益 74 23.3期: 売上 3,245, 営業利益 402</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格改定効果により増収増益見込 →改定分を下期予想に織込 資料20p ● 品質/供給安定、コスト低減に向けた輸入原鉱調達先見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安定した販売マージン確保に向けた、機動的な対応の継続 ● ASEAN市場開拓 →行動制限緩和に伴う活動の再開
土木	<p>■売上 ■営業利益</p> <p>22.3期: 売上 2,155, 営業利益 445 23.3期: 売上 1,811, 営業利益 185</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般土木は大型公共案件の延期により、前年並の見込 ● 復興関連事業の終息により、減収減益 資料22p 	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水材等の高収益品販売強化の継続 ● 低レベル放射性廃棄物処理案件獲得に向けた営業活動の継続
ペット	<p>■売上 ■営業利益</p> <p>22.3期: 売上 353, 営業利益 13 23.3期: 売上 331, 営業利益 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高利益率のEC事業進捗遅れ、既存品原価増により、減収減益 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存品の価格改定による利益獲得 ● ECサイト商品の拡充と産学連携による事業開発推進

輸入原鉱 購入・販売価格推移(鋳物分野)

※20.3期 輸入原鉱購入価格・加工後製品販売価格を「100」としたときの価格推移



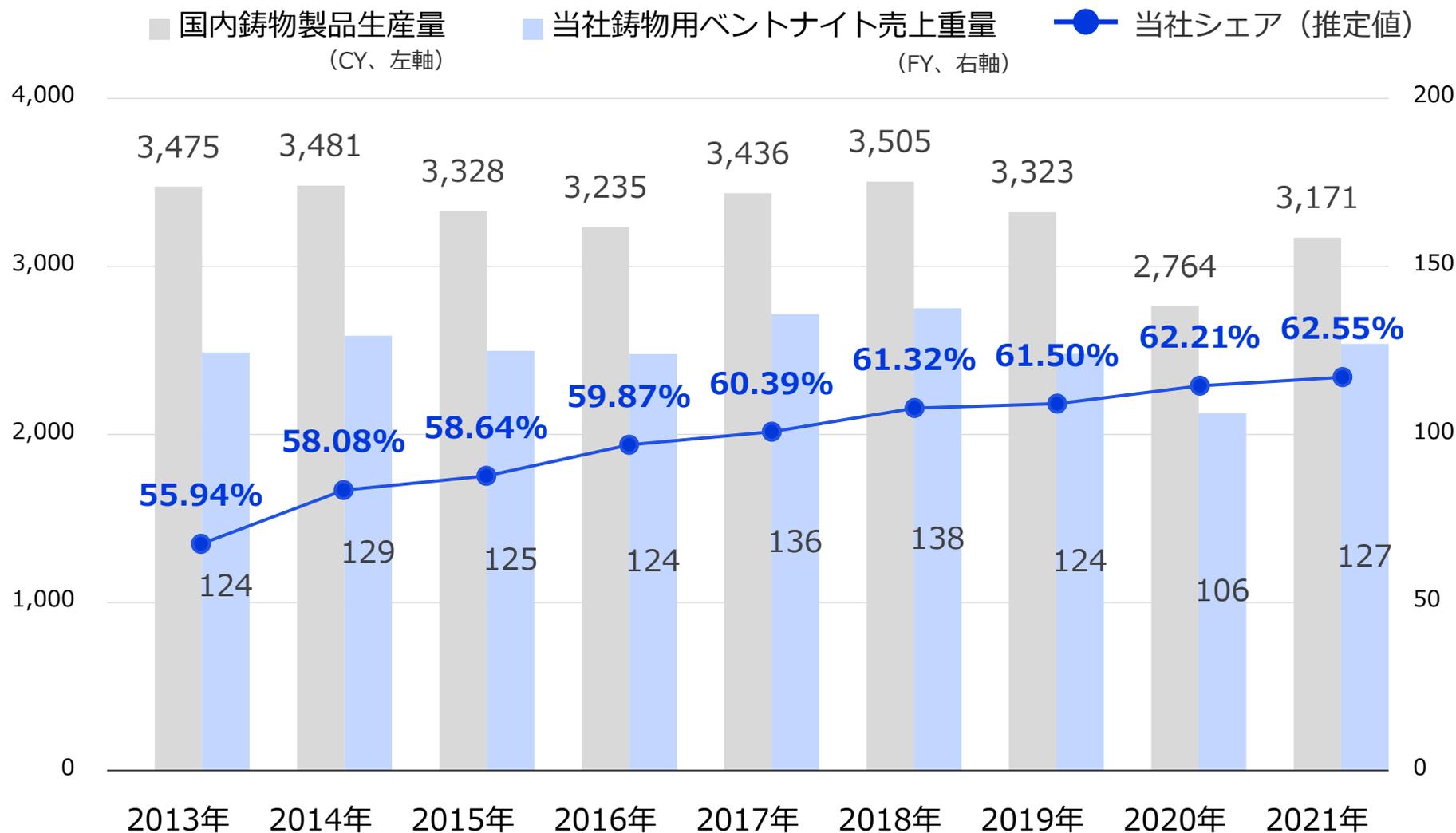
注：購入価格データ欠落部分は、そのタイミングでの購入実績なし

- 23.3期の輸入原鉱のCIF(運賃・保険料込価格)は、20.3期比で165%まで上昇
- 22.3期2Q以降、第一弾の価格改定を行ったものの、米国インフレと急激な円安進行による輸入原鉱価格高騰により、23.3上期は改定が追い付かない状況
- 23.3期上期より、前年の不足分を含んだ第二弾の価格改定交渉をお客様と実施
→23.3期下期は、価格改定の見込がついた分を織込んで予想を算定

ベントナイト事業 鋳物分野 国内シェア推移

(単位：千 t)

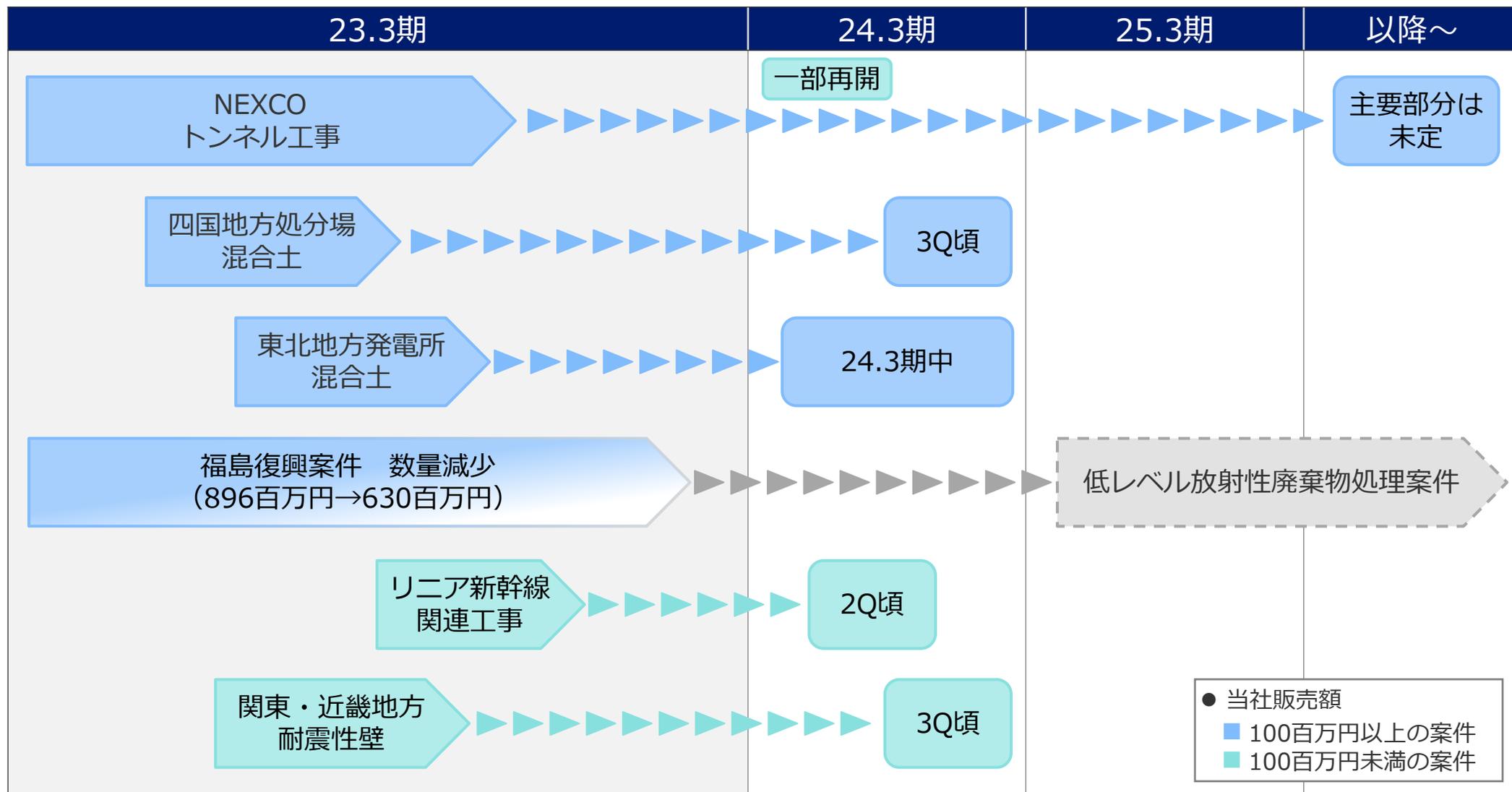
(単位：千 t)



出所：一般社団法人日本鋳造協会
銑鉄鋳物製品別生産量

※鋳物製品生産量より国内ベントナイト使用量を当社基準で推定し、シェアを算出

土木主要案件の状況



- 当期は大型工事の相次ぐ延期、復興案件の見込数量減少により売上で700百万円超の予定案件が減少
- 延期案件の確実な取り込みを図るとともに、次期以降の案件獲得に向けた営業活動を継続

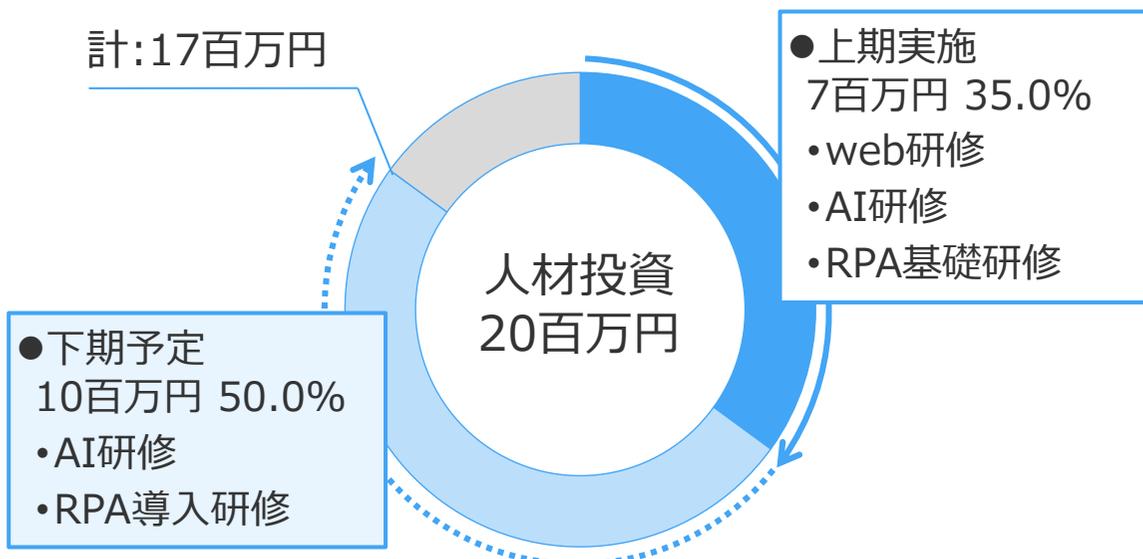
22.3下期-23.3下期見込比較

セグメント別

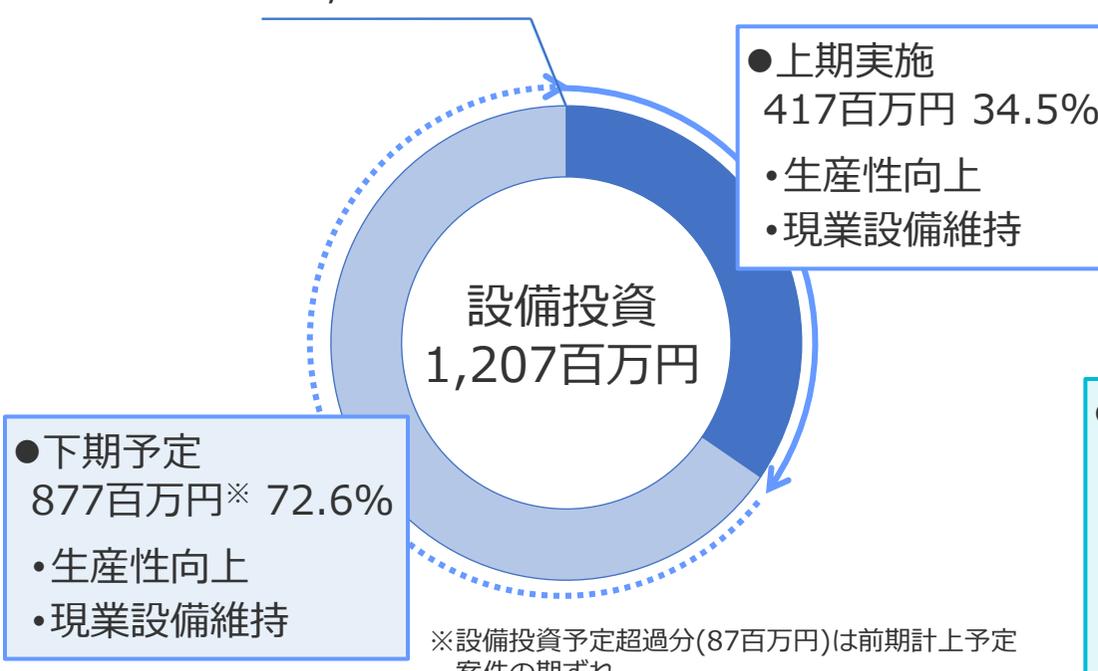
事業	22.3下期-23.3下期見込(百万円)	下期見通し	今後の対応									
アグリ	<p>■売上 ■営業利益</p> <table border="1"> <tr> <th>期</th> <th>売上</th> <th>営業利益</th> </tr> <tr> <td>22.3期</td> <td>1,794</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>23.3期</td> <td>1,921</td> <td>643</td> </tr> </table>	期	売上	営業利益	22.3期	1,794	600	23.3期	1,921	643	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存案件の減少分を、新規案件獲得でカバー ● 前年より開始した種子コーティング案件の増分も含め、増収増益 	<ul style="list-style-type: none"> ● 種子コーティング能力の強化に向けた、設備投資実施・造粒技術の向上
期	売上	営業利益										
22.3期	1,794	600										
23.3期	1,921	643										
化成品	<p>■売上 ■営業利益</p> <table border="1"> <tr> <th>期</th> <th>売上</th> <th>営業利益</th> </tr> <tr> <td>22.3期</td> <td>866</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>23.3期</td> <td>893</td> <td>120</td> </tr> </table>	期	売上	営業利益	22.3期	866	123	23.3期	893	120	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格改定効果により、売上増を見込むも、コスト増により増収減益 ● 化粧品分野での市場開拓継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 化粧品・ガスバリア用途販売強化 →nano tech 2023出展 (材料・素材：ナノマテリアル) ● 産学官連携による新用途開発の継続 資料29p
期	売上	営業利益										
22.3期	866	123										
23.3期	893	120										
ライフサイエンス	<p>■売上 ■営業利益</p> <table border="1"> <tr> <th>期</th> <th>売上</th> <th>営業利益</th> </tr> <tr> <td>22.3期</td> <td>47</td> <td>▲10</td> </tr> <tr> <td>23.3期</td> <td>70</td> <td>▲1</td> </tr> </table>	期	売上	営業利益	22.3期	47	▲10	23.3期	70	▲1	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤潮対策剤の販売増(来春用在庫分)を見込み、増収増益 ● 成長促進肥料のサンプルワーク実施「KUNIMINE ペプチオン」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新製品「KUNIMINE ペプチオン」(成長促進肥料)上市による新規市場獲得 資料30p ● 動物医薬関連製品の研究開発継続
期	売上	営業利益										
22.3期	47	▲10										
23.3期	70	▲1										

投資政策の状況

計:17百万円

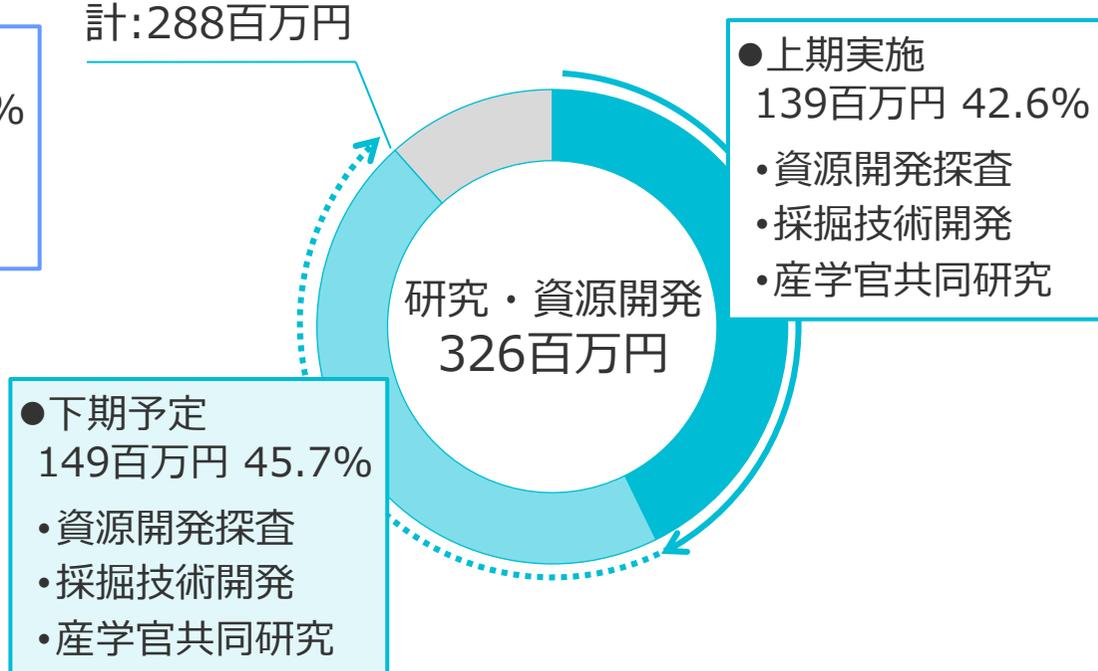


計:1,294百万円



※設備投資予定超過分(87百万円)は前期計上予定案件の期ずれ

計:288百万円



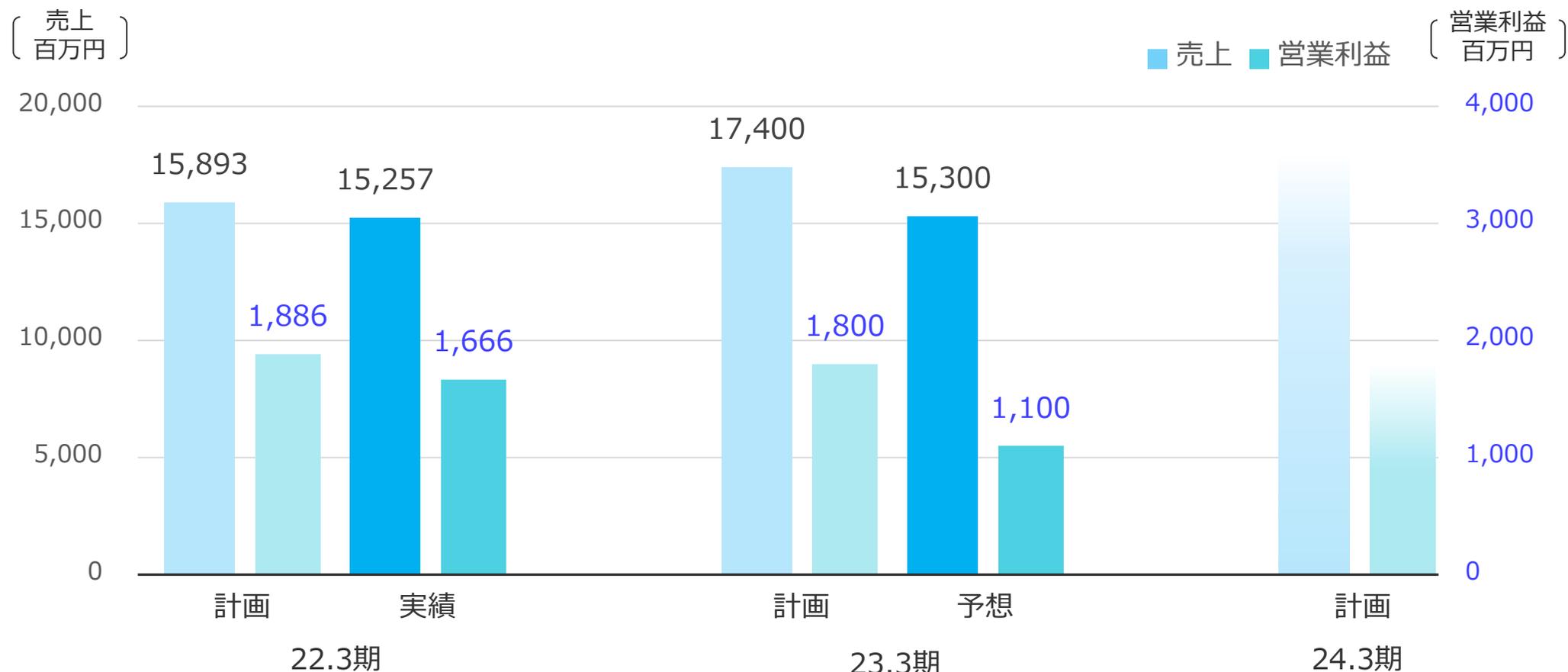
1 業績トピックス

2 2023年3月期 第2四半期決算概要

3 2023年3月期 通期見通し

4 中期経営計画概要(2022年3月期-2024年3月期)

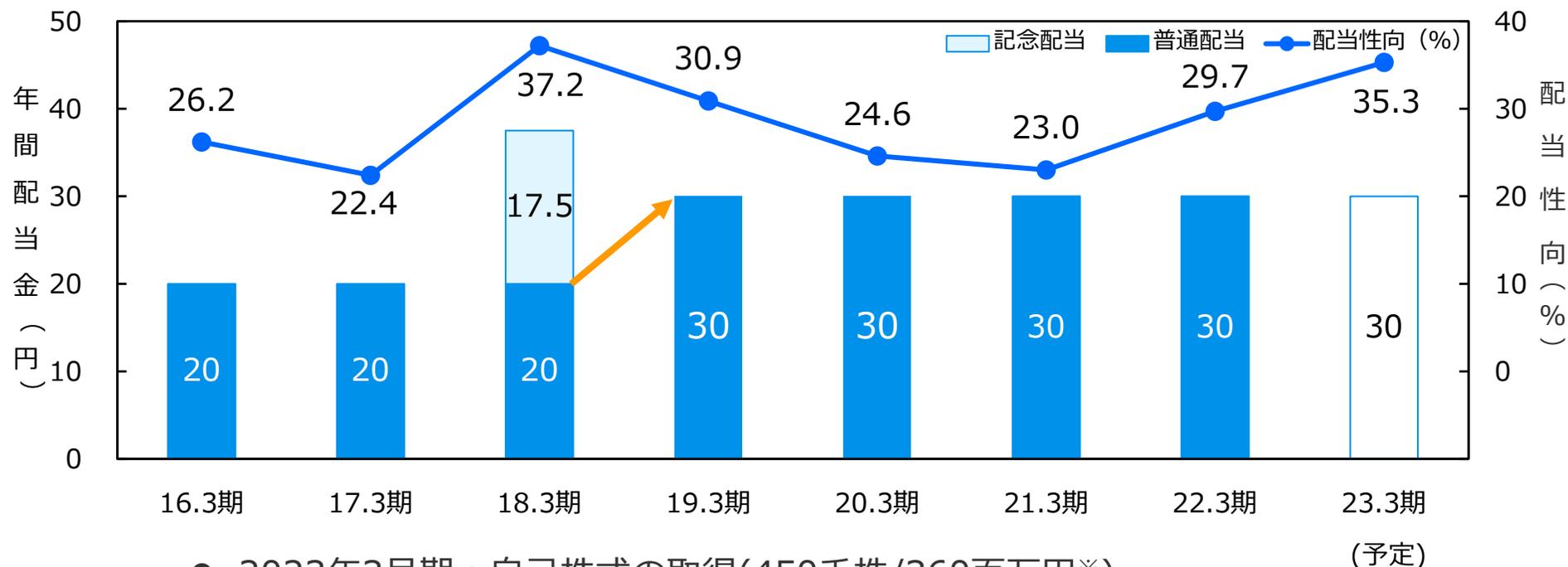
中期経営計画(3ヶ年)目標値



- 当社を取り巻く環境として、来期は急激な電力コストの上昇、各種部材高騰の継続が予想され、24.3期計画は現時点での算定が非常に困難であるため、未定としております
- 価格改定効果や、市場動向を踏まえた合理的な算定が可能になりました時点で、速やかに開示させていただきます

- 持続的な企業価値向上に努め、配当性向30%を目安として株主へ安定的・継続的な利益還元を行ってまいります
- 2023.3月期の一株当たり配当金は、**30円**を予定しています

1株当たり年間配当金・配当性向推移



- 2023年3月期：自己株式の取得(450千株/360百万円※)
当社の株価水準、手元資金、経営環境等を総合的に勘案し、機動的な資本政策により資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を実施

※市場買付期間(2022年11月1日~2023年3月31日)の上限数・金額

補足資料

■ 成長促進肥料発売予定



ライフサイエンス事業の新しい取組みとして、苗木の成長促進肥料 KUNIMINE「ペプチオン」の発売を予定しております。

当製品は酸化型グルタチオンを含有した天然の成長促進肥料で、スギやヒノキ、カラマツなどの樹木に効果が期待できます。

近年、ウッドショックと呼ばれる木材価格の高騰等、林業に高い注目が集まっています。当製品の使用により苗木の育苗期間の短縮が見込まれ、植林後も成長促進作用で雑草への日光を遮り、下刈り回数を削減することで、林業のコストダウンに貢献します。

当製品を通じて、国内林業の活性化と持続可能な森林資源の確保に貢献できるものと考えております。



■ 液化天然ガスへの燃料切替予定



当社いわき工場の乾燥工程で使用している燃料を、灯油からCO2排出量の少ない液化天然ガス(以下LNG)に切替予定です。

LNGのCO2排出係数は灯油より約30%少なく※、クリーンなエネルギーと評価されており、国内の火力発電や都市ガスとして広く利用されています。

切替えによるCO2削減量は、年間で▲930t-CO2を見込んでおり、当工場の排出量の約20%、グループ全体の排出量では約3%のCO2削減となります。

カーボンニュートラルの達成に向け、今後も全社一丸となって取り組んでまいります。
※環境省『燃料別の二酸化炭素排出量の例』より算出

- 東京ガス株式会社 常磐鹿島サテライト(当社契約先)



クレイパックシリーズ展開

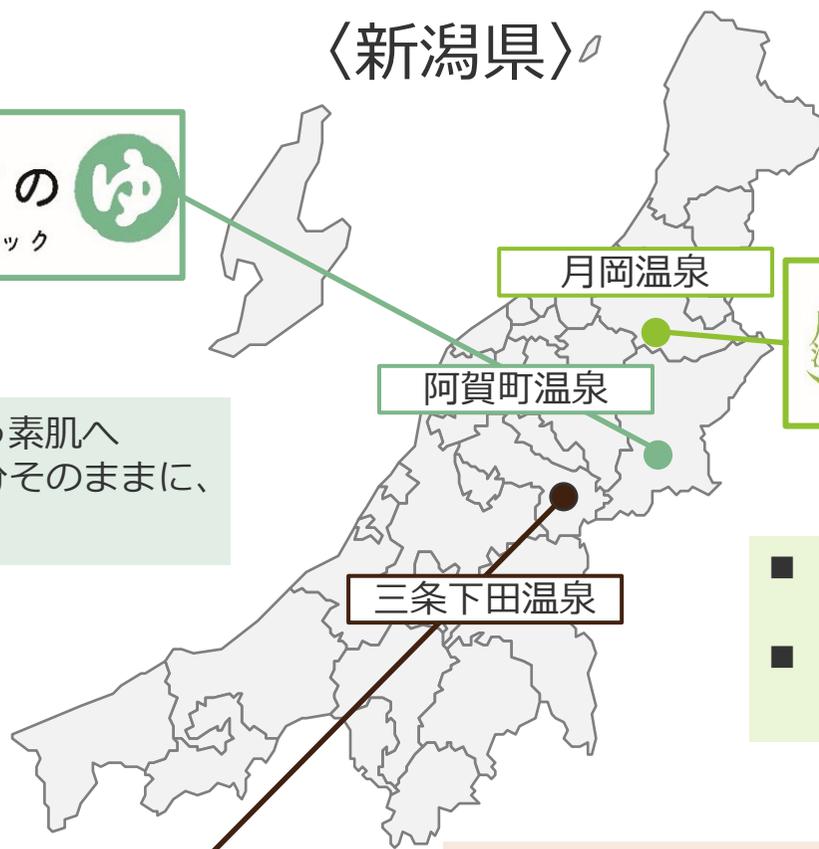
- ご好評をいただいているクレイパックに、月岡温泉、三条下田温泉が加わりました
- 各地の源泉を豊富に使用し、その魅力をクレイに乗せてお届けします
- 新潟県内各地温泉街、道の駅、楽天市場などでお求め頂けます



- クレイパックでもっちりうるおう素肌へ
- 新潟県阿賀町の八つの源泉を成分そのままに、クレイパックでお届けします



- すっきりとした弱アルカリ性の硫酸塩泉で肌が気になる方にも人気の湯
- とろみを持たせた処方で、パック感を一層高めた商品です



月岡温泉



- 硫黄泉でアルカリ性の月岡温泉は、美人の湯として大変人気があります
- 温泉の美肌効果と専用クレイで、瑞々しいパックに仕上がっていると評判です



■ 当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

クニミネ工業グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社が中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつながる取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

環境 (E)

- 気候変動問題対応 (土木部門)
⇒脱炭素事業…地熱発電
⇒静脈産業…低レベル放射性
廃棄物処理
⇒自社CO2排出量削減



社会 (S)

- 食料自給率向上
⇒畜産養殖生産性向上
(ライフサイエンス部)
⇒農業生産性向上(アグリ事業部)
- 新素材開発(化成品事業部)

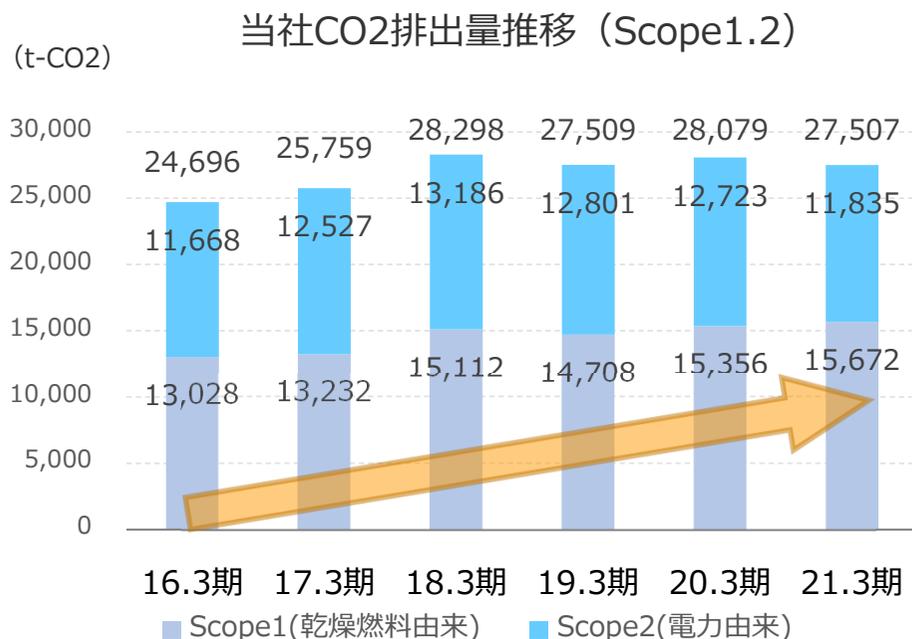


ガバナンス (G)

- 3分の1以上の社外取締役確保
- コンプライアンス基本方針・規定、社員倫理行動規範の順守
- 内部通報制度活用による不正行為早期発見



CO2排出量の状況と今後の対応

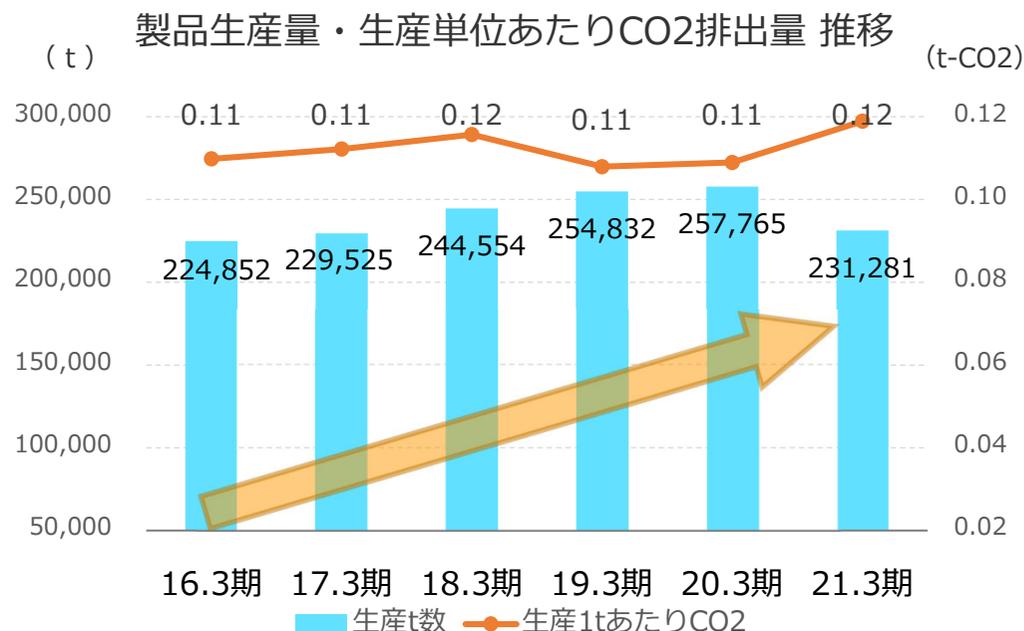


■ 当社グループCO2排出量の状況

- 当社グループのCO2排出量は、16.3期から上昇傾向が継続
- Scope2(電力由来)の排出量は約1.2万t-CO2/年前後で推移
- Scope1(乾燥燃料由来)の排出量が生産量に伴って増加し、CO2排出量増加の主要因となっている

* Scope 1 : 製造等での燃料使用によるCO2直接排出

* Scope 2 : 購入した電気の使用によるCO2間接排出



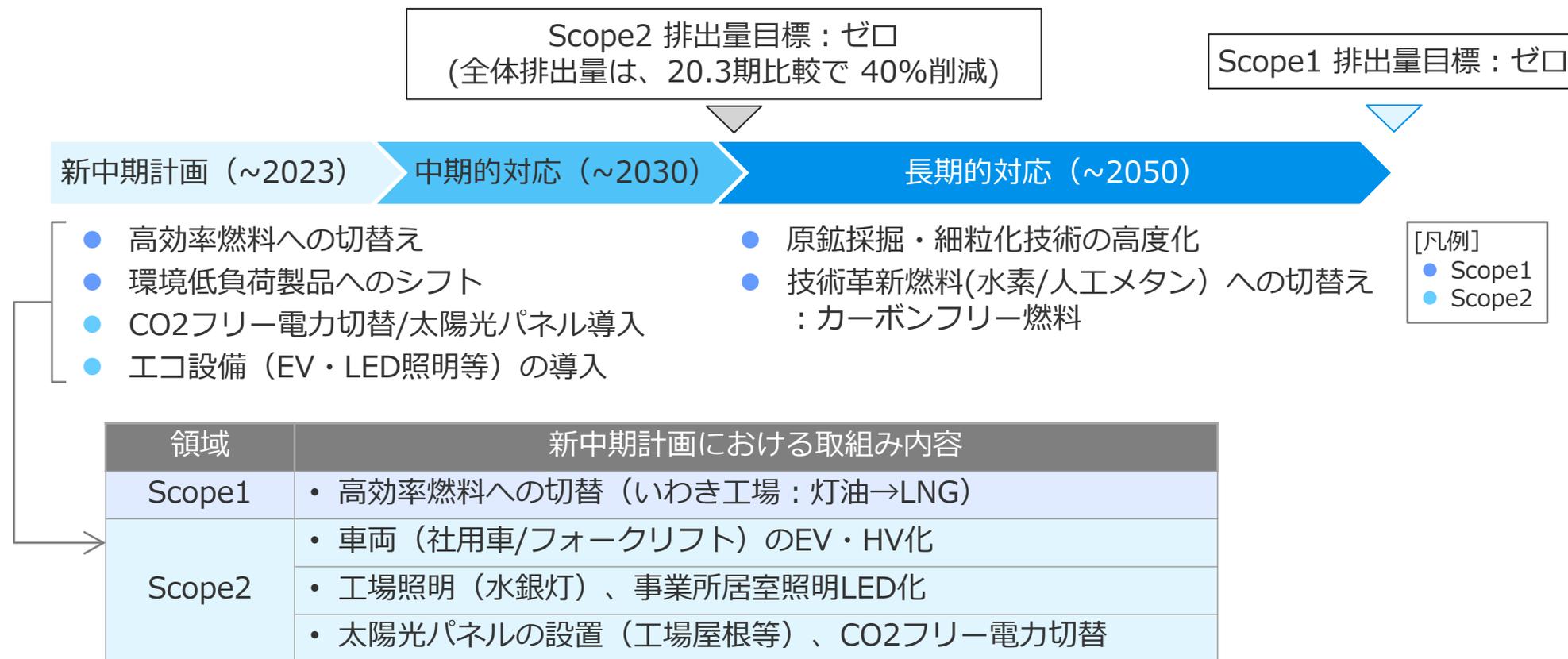
■ 今後の見通しと対応

- 当社製品の生産量は、需要の拡大に伴い増加傾向にあり(21.3期はコロナ影響で減少)、生産単位当たりのCO2排出量は横ばいで推移
- 今後も低レベル放射性廃棄物処理や国土強靱化等のニーズから生産量の増加を見込んでおり、生産におけるCO2排出への対策は急務
- 当社グループでも2050年のCO2排出量実質ゼロを目指し、次期中期計画では生産単位あたりCO2の削減を進め、CO2排出量増加の抑制を図る

※各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

■ カーボンニュートラルに向けた中長期的対応

- 中期的な対応（～2030年）はCO2削減を重点課題とし、太陽光パネル・水力発電(小規模)・高効率燃焼設備・各種省エネ機器等のあらゆるエコ設備の導入を、可能な限り進めていく
- 長期的な対応（～2050年）では、Scope1のCO2削減に向け、原鉱の採掘段階から見直しを進めていく。具体的には原鉱の含水率低減を狙いとし、採掘技術・細粒化技術の高度な開発を進めることで製造工程の大幅な見直しを図る。加えてコストダウンも進め、競争力強化にもつなげていく



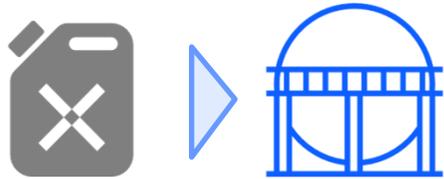
新中期計画期間(～24.3期)における取組み内容

■ 新中期計画期間(～24.3期)における取組み内容

- 22.3期からの新中期計画では、生産単位あたりCO2の削減と、2030年のScope2 排出量目標：ゼロの達成に向け、エネルギーの代替・設備の導入を推進
- 具体的には24.3期までを目標に、以下の4つの取組み(①高効率燃料への切替、②車両のEV・HV化、③照明LED化、④発電設備導入)を進め、CO2排出量増加を抑制

①高効率燃料への切替(いわき工場：灯油→LNG)

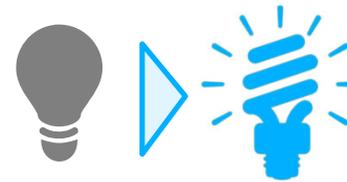
- 高純度品(クニピア・スメクトン等)の乾燥工程で使用する燃料を高効率のLNGに切替ることで、CO2排出量を削減



期待効果：
900t-CO2削減

③工場照明(水銀灯)、事業所居室照明LED化

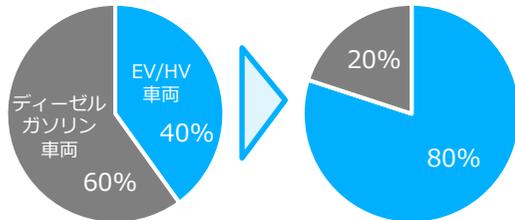
- 工場で使用されている水銀灯と、事業所居室の蛍光灯照明のLED化を推進



LED化目標：
50%(現状) →100%

②車両(社用車/フォークリフト)のEV・HV化

- 車両を現場環境(気候条件・敷地内傾斜)に応じて、EV・HV化を促進

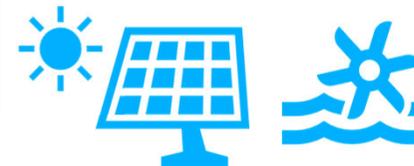


目標：80%
現場環境を加味した
最大値



④発電設備導入(太陽光パネル・小規模水力発電)

- 工場建屋への太陽光パネル設置を推進。日照・気候条件と建屋耐久性等から最適な方法を検討
- 工場近隣の河川・用水路での水力発電設備設置可否確認

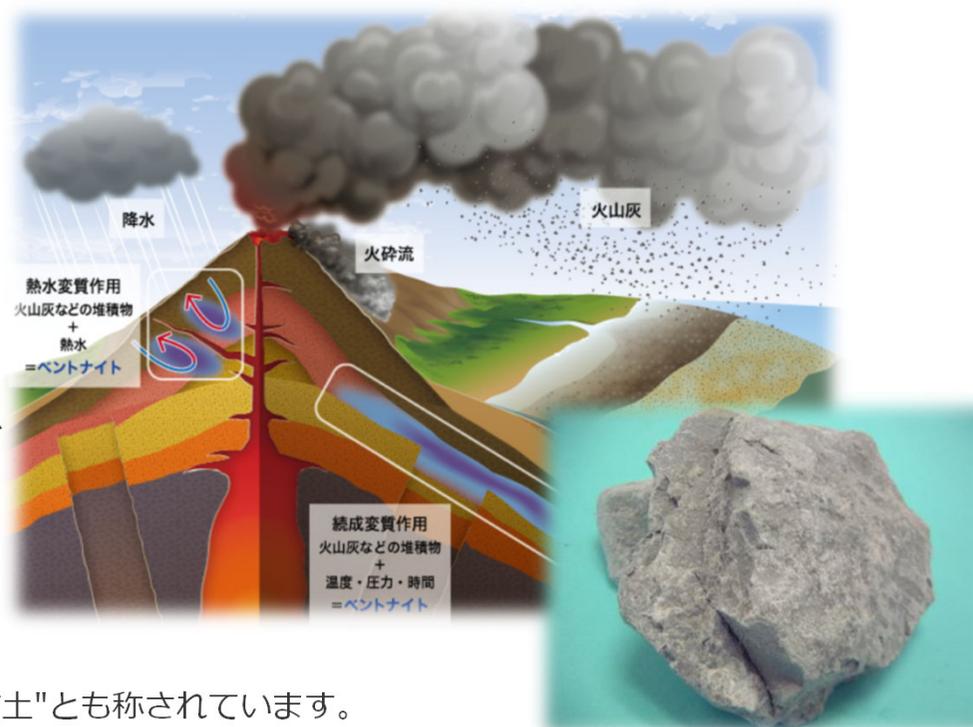


各地区工場
の環境条件
を確認中

●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは"1,000の用途を持つ粘土"とも称されています。



鋳物部門



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

鋳物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、お客さまに対し最良の生産環境を構築するためのサポートも行っています。

鋳物砂の分析を行っている黒磯研究所では、お客さまの様々なニーズに応え、当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ

土木建築部門

アースドリル工法などの杭基礎の掘削工事時にはベントナイト泥水を使用することにより、粘土分で孔壁に膜を形成し、水の浸透による孔壁崩壊を防止しています。

また、ベントナイトの遮水性を活かし、一般廃棄物処分場の遮水工事にベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

放射能汚染廃棄物の処分場向けにおいても、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れたベントナイトのニーズが高まりつつあり、再生可能エネルギーである地熱発電や海底資源掘削向けなどを中心にボーリング需要も増加しています。



主力商品

「クニシール」

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGT ●クニゲルVO
- クニゲルGS ●クニゲルU ●佐渡 ●「クニシール」シリーズ

ペット関連部門

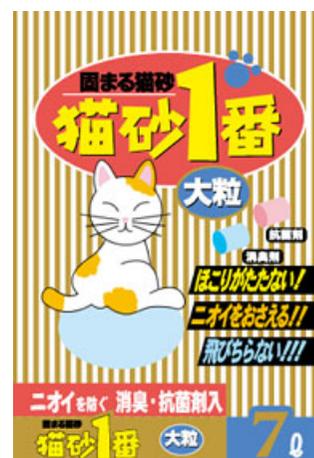


当社新ブランド「RAGDOLL」公式Instagram



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。



主力商品

- RAGDOLL プレミアムサンド
- 猫砂1番 ● 猫砂1番金印 ● 猫砂1番大粒

アグリ事業

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

主力商品

- クレー細粒剤 ● クニゲルV1
- 天竜 ● クニピアF ● クニピアG
- スメクトンSA



化成品事業

ファインケミカル分野のうち、ベントナイトの主成分であるモンモリロナイトの純度を高めた精製ベントナイト「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。

また、合成スメクタイト「スメクトン」は、高粘性や高チクソ性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。

「環境保全処理剤」は、清掃工場の大気汚染防止など、排ガス処理工程において利用されています。

主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 環境保全処理剤



ライフサイエンス事業

生命を事業領域とする当事業部では、既存事業として「飼料添加物」「食品添加物」用途への展開を行っています。「飼料添加物」分野においては、当社ベントナイトは、カビ毒吸着能に加えたたんぱく質毒素を吸着する付加価値を有しており、飼料添加物として活用することで、畜産業界の治療から予防医療へのニーズシフトに対応しております。これらを生産者様に提供することで、飼料で多用される重金属の低減が可能になるなど、家畜および環境への負荷低減が期待されています。現在、環境負荷低減に向け、金属成分から生命にやさしいベントナイトへの置き換えを進めています。

また、付加価値の高い「食品添加物」や、新規分野「土壌改良」「動物医薬」用途なども、産学官連携による「オープンイノベーション」を活かした活動から新しい付加価値を創造し、順次市場に提供して参ります。



主力商品

- クニボンドRT
- ダブルボンド
- ダブルフリー
- 土壌改良剤

ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

<https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html>